

# 桐生西ロータリークラブ週報



2013-14年度RIテーマ **ロンD.バートンRI会長**

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES **ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を**

例会日時 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30  
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス  
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777  
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi

会長 阿左美博 広報活動委員長 家住慧路 広報活動委員 根本正則・船戸義澄  
 幹事 高森 勉 クラブ会報・雑誌担当 金子福松 羽鳥 隆(歴史編集・IT・CICO担当)

No. 1910

2013年9月13日発行

## 第2028例会 (2013・9・6) 報告

- |              |                           |
|--------------|---------------------------|
| 1. 点 鐘       | 7. 食 事                    |
| 2. 国歌斉唱      | 8. 委員会報告                  |
| 3. 四つのテストソング | 9. 講 話 第2分区分Aガバナー補佐 星野榮助君 |
| 4. 来訪者紹介     | 10. クラブ協議会                |
| 5. 会長報告      | 11. 点 鐘                   |
| 6. 幹事報告      |                           |

◆ビジター 第2分区分Aガバナー補佐 桐生赤城RC 星野榮助君

◆会長報告 阿左美会長

- 星野榮助ガバナー補佐には、2週間後に迫る本田ガバナー公式訪問の事前指導等について、この後講話を頂く事になっております。宜しくお願い致します。
- 大間々高校模擬面接が、昨日までの3日間にわたり、会員9名に面接官をお願いして無事終了しました。今年度は個人面接でなく、30数名の生徒さんをご協力頂き分けてグループ単位で行いました。ご協力頂きました皆様、ありがとうございました。
- 皆様にご協力頂きましたしゅんすけ君心臓移植手術の為の募金ですが、当クラブは77,400円集まりました。桐生5RCで一括して贈呈する事になり、総額285,500円を、本日例会終了後、桐生倶楽部で、桐生タイムス社立ち会いのもと、星野ガバナー補佐と桐生5RC会長から、しゅんすけ君を救う会の代表者にお渡しすることになっております。  
また、この募金につきまして、地区でも取り上げて頂ける様お願いしました。今月のガバナー月信に掲載してありますので、ご覧下さい。
- 同じくガバナー月信に、2016-17年度のガバナー候補者の推薦依頼が載っておりますので、お知らせ致します。

◆幹事報告 高森幹事

- ロータリーの友9月号を配布致しました。
- ガバナー月信9月号が配信されました。(各テーブルに配布)
- 武井善作会員からニューモラルNo529を15部頂きました。
- 納涼家族会の決算報告書を配布致しました。
- 9月4日(水)の桐生タイムス紙に大間々高校模擬面接の記事が掲載されました。(各テーブルに配布)
- 桐生RCと桐生中央RCよりクラブ現況報告書を頂戴致しました。
- 地区大会の最終申込期日が本日ですので、至急ご返事をお願い致します。
- 過日、桐生5RC合同チャリティゴルフコンペと本田ガバナー歓迎会のご案内をお送り致しました。その中でゴルフのプレー費10,000円(食事別)と記載してあります

が、キャディ費3,150円が記載漏れとなっております。お詫びし訂正をさせていただきます。

- ◇例会変更のお知らせ  
前橋西RC 9/13 富岡RC 10/2(休)  
沼田中央RC 10/17、10/24、10/31
- ◇クラブ会報が到着しています  
桐生RC 8/19、8/26 桐生中央RC 8/29  
桐生赤城RC 8/20、8/24 桐生南RC 8/21、8/28
- ◆食事メニュー 1300キロカロリー  
海老フライ、旬野菜のトマトグラタン、香の物、きのこと鶏団子のスープ、ポテトサラダ、とうもろこしの炊き込み御飯、キャラメルプリン

◆委員会報告  
□クラブ運営委員会

- ◇出席報告 新木出席担当  
総数53名(免除者10名の内6名出席の為4名を除く)  
出席率対象者49名、出席率対象者出席人数36名  
欠席者13名(内前メイク3名) 出席率79.59%  
前々例会修正出席率85.71% (最終欠席者7名)

□拠金委員会

- ◇ニコニコBOX 七五三木掘金委員  
今日はお世話になります ガバナー補佐・星野榮助君  
星野榮助ガバナー補佐をお迎えして。ご指導宜しくお願い致します

阿左美君、星野君、高森君、中野君、乾君、家住君、近藤君、七五三木君、栗原(幸)君、坪井君、霜村君、前原君、新木君、鳥嶋君、根本君、松原君、須田君、金子君、向田君、東郷(庸)君、天沼君、正田君、東郷(学)君  
大間々高校模擬面接お世話様でした 新井君  
何となく 矢野君  
お陰様でプリオ30周年。会員奥様方のパーティーを開催させていただきます。ご参加の程お願い申し上げます 斎藤君

◇ロータリー財団 江原R財団担当

星野榮助ガバナー補佐をお迎えして。ご指導宜しくお願い致します 星野君、江原君、中野君、新木君、下井田君、坪井君、前原君、鳥嶋君、正田君、松原君、須田君、向田君、天沼君

講 話



第2分区A  
ガバナー補佐  
星野 榮助 君  
(桐生赤城RC)

大間々高校模擬面接にご協力頂きました皆様、大変ありがとうございました。乾君、高森君、新井君今日は家内のバースディです。おめでとう。野田君

**□米山BOX** 栗原(幸)米山奨学担当  
星野榮助ガバナー補佐をお迎えして。ご指導宜しくお願い致します。東郷(庸)君、天沼君、正田君、斎藤君、星野君、坪井君、前原君、新木君、鳥嶋君、根本君、松原君、須田君、向田君、船戸君  
大間々高校模擬面接お世話様でした。新井君  
大間々高校模擬面接の効果が現れますように。野田君

**□広報活動委員会**  
**◇クラブ会報・雑誌** 金子クラブ会報・雑誌担当

ロータリーの友9月号の解説を致します。  
先ず、横組みの表紙は「彼岸花とさぬき富士」という写真で、香川県の富士山に似た飯野山をバックに彼岸花の赤色を強烈に出した傑作です。縦組みの表紙の写真は「たった一個の気球」で、トルコの Cappadocia で撮ったもので、紺碧の大空に舞上がった軽やかな気球の写真で見事です。この写真の解説は縦組みP27にあり、併せて表紙写真公募結果が掲載されています。ただ、来年の5・6月号は適当な写真がないので、再募集しております。締切は11月末日ですので、皆さん応募して下さい。

次に、今月号には「例会一覧表」が両表紙の裏に綴じ込んであります。これを切り取って持っておりますと、遠出する時にメイクする参考になります。

本文ですが、横組み巻頭にRI会長メッセージが「ロータリーの新しいウェブサイト」の題で載っています。その書き出しにポール・ハリスの有名な言葉が引用されています。是非お読み下さい。

また、今月は『新世代のための月間』ですので、P5からそれに因んだ特集が組まれています。

縦組みですが、P2から松坂・東紀州グループIMの記念講演要旨「変革の時代をどう生きるか～消費者に守られ感動を共有する経営を求めて」が載っています。ユニークな経営内容についてです。

その他「友愛の広場」「卓話の泉」と盛り沢山です。どうか皆さん、ロータリーの友を読んで下さい。

本年度第2分区Aガバナー補佐を仰せつかりました星野榮助です。本田年度、何度か訪問させていただきましたので、よろしく願いいたします。

今年度のガバナー訪問は、まず県内1番目として9月2日に桐生RCの訪問が終わりました。当クラブには9月20日に訪問し、桐生地区では10月17日の桐生中央RCで最後となります。今の予定では、その日の夕方に、ガバナー歓迎会を開催する予定ですので、よろしく願いいたします。

まずは、皆様ご承知のことと思いますが、改めてガバナー補佐の役割を説明させていただきます。

ガバナー補佐は、クラブと最も頻りに連絡を取り合う地区指導者で、クラブと地区の間のパイプ役としての役割を果たします。

【 役 割 】

担当するクラブが効果的に運営されるよう支援することによりガバナーを補佐することです。主として下記のことにつきガバナーのお手伝いをします。

1. 会員基盤の維持・拡大
2. 各種奉仕プロジェクトの実施
3. ロータリー財団への支援とプログラム参加
4. ロータリー指導者の育成

本田ガバナーは地区目標を9点ほど掲げておられますが、私がガバナー補佐として本田ガバナーのお話を聞いておりますと、特に感じられるのが地区スローガンである「希望を語ろう」という言葉です。

《ロータリーに積極的に参加し、自分の生き方を変えれば、自分の中に「希望」を発見するでしょう。そして、その「希望」をクラブの仲間と分かち合い行動を起こせば、みんなの人生をより良いものに変えてゆく可能性、すなわち「希望」を確信するでしょう。》

この言葉はRI会長ロン・バートン氏の今年度テーマ「Engage Rotary, Change Lives」

「ロータリーに積極的に参加しよう(関わろう)」・「自分も含め、みんなの生活(生き方、人生)を変えよう」に相通するものだと思います。

この意味を考えますと、RI会長メッセージの中で、彼が26年前ガバナーとして国際協議会に出席した時の事が紹介されておりますが、その時にポリオ撲滅の運動が始まったそうです。その後の撲滅プログラムにより現在ポリオが絶滅寸前までできています。車椅子や松葉杖で生活している子供や、地面を這っている子供たちを救うことができ、ロータリーを通じて彼らの人生を変えることが出来た感動、それにより自分自身の生き方も影響を受けたとの事です。これこそロータリーモメント(ロータリーに打ち込む何かをロータリーで見つけた体験・感動体験)ではないかと思えます。

ガバナーは会員減少が危機そのものではなく、クラブ活力の低下こそが「危機」であるといわれています。活力の低下によりロータリーが面白くないということで退会、あるいは入会者が少ないという減少が起きるのではないかと考えられます。ロータリーは、ポリオ

しゅんすけ君を救う会に募金贈呈



桐生市在住のしゅんすけ君(10歳)の心臓移植の為の資金として、桐生5RCが各々例会で会員に募金を呼び掛け、集まった285,500円を、9月6日(金)午後、桐生タイムス社立ち会いのもと、桐生

倶楽部で、星野榮助ガバナー補佐と5RC会長から、しゅんすけ君を救う会の代表の方にお渡し致しました。

当会によると、目標額1億7千万円には、まだまだ及ばないそうです。会員皆様にはお礼と共に、今後更なるご支援とご協力をお願いしますとの事です。



撲滅運動をはじめとする大変重要な社会貢献をしているという、自覚と誇りをもって持つてもよいのではないのでしょうか。この感動体験が希望の芽であり、仲間や後輩に伝えることから始めたら如何でしょうか。

皆様方はロータリーに対し色々な考え方ををお持ちだと思いますが、せっかく何かの縁でロータリアンとなったのですから、とにかく各種プロジェクトに参加して、その中で何か得られるものがあるのではないのでしょうか。

私と本田ガバナーとのお付き合いは、ガバナー補佐に内定してからのご短期間ですが、ガバナーメッセージをお聞きしても、ロータリーに対する真摯な姿勢が強くうかがわれます。少しでもお手伝いが出来ればと考えております。そのためには桐生5RC会員皆様のご協力を是非よろしくお願いいたします。

【数値目標】も地区会員必携に掲げられているのでご覧になっていただければわかると思いますが、改めて具体的に申し上げます

**1. 会員数2,000名回復(3年間)**

地区の2013年6月30日現在の会員数は1,900名を大きく割り込み1,877名となっており、依然として減少傾向に歯止めがかからない状況です。その原因は各クラブの事情やR Iや地区にも問題があると思いますが、やはり各クラブごとに増強、退会防止に励んでいただきたいと思えます。こちらのクラブは昨年純増7名とすばらしい増強をされましたし、更に平均年齢も1才若返っているのをみて、上手に世代継承ができていないかと思われ、敬意を表します。後ほどそのことも含め、増強について委員長よりお話をいただきたいと思えます。

**2. ロータリー財団への寄付 1人 150ドル**

ガバナーがもう一点とくに強調しているのが財団です。昨年度より新地区補助金制度が開始され、34クラブで約13,600千円の事業が認定されスタートします。今までに無い規模の各種プロジェクトが各地で行われようとしています。今年度桐生地区では3クラブが事業を行います。以前に比べ、地域社会のニーズに応える地元プロジェクトの申請に対して柔軟性が高くなっておりますので、今後の為にも是非目標達成に協力をお願いします。

昨年度に比べ円安のこの時に、前年より増額となりますが、当地区だけでなく日本全体の目標ですのでご理解をお願いいたします。

前年実績 2840地区 1人 141.27ドル  
日本 1人 137.79ドル

**3. 米山奨学会への寄付目標 1人 16,000円以上**

奨学生を受け入れると目に見えて奉仕をしていることが感じられますので、こちらもよろしく願いいたします。

以上特に増強、新地区補助金についてガバナーの考えの一端をお話してきましたが、その他のことで何かありましたら、ガバナー訪問が9月20日にありますので、直接ガバナーにお聞きしていただきたいと思えます。また、それ以前でも何かありましたらガバナーにお繋ぎ致しますのでよろしく願います。

- |  |
|--|
| <p><b>2013-2014年度 地区目標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. クラブを元気にしよう</li> <li>2. 会員全員がリーダーシップを発揮できるような環境を整えよう</li> <li>3. 地域社会に対する発信力を高めよう</li> <li>4. 中核となる価値観を共有し、奉仕を实践しよう</li> <li>5. IMを開催し、私たちの課題と「希望」を確認しよう</li> <li>6. 子供の未来を育もう</li> <li>7. ロータリー財団の「未来の夢計画」に積極的に参加しよう</li> <li>8. 米山記念奨学会への認識を高めよう</li> <li>9. 地区大会にクラブ全員で参加しよう</li> </ol> |
|--|

◆クラブ協議会

主だった部門の活動計画発表



ロータリー財団『未来の夢計画』  
地区補助金事業について

会長エレクト  
向田 靖君

地区補助金の事業について、ご報告させていただきます。今年度は昨年度申請いたしました『自閉症・発達障害児者を育む活動支援事業』を実施致します。これは、高森幹事がいろいろと関係しております自閉症・発達障害児者が地域で暮らし易い環境を整えていくため、啓発事業を支援する事業です。広報活動の為の機材、パソコンやプロジェクター・スクリーン等の提供や、実際の活動のお手伝いを計画しています。地区から先月末補助金を頂きましたので、近々実施する予定です。

また、今年度の申請事業には、当クラブが長年行っている施設優良職員表彰(意義ある業績賞受賞事業)の対象である、区域内の障害を持つ子供達の養育と自立支援を行っている6つの施設の何れかの1施設対象に行う予定です。

昨年度実施した地区補助金事業は、その6施設の一つであるわたらせ養護園さんへ、椅子40脚を寄贈して大変喜ばれました。これはもともと低年齢児を対象とする養護園であったのが、引取先が無いため入園児者が高齢化し、今までの設備・備品では対応しきれなくなった窮状に対して行ったものです。

本年度は、残る5施設の中で障害者支援施設『はひとつふるちはや』さんに対して実施する事とし、現在、具体的にプランを検討しているところです。



会員増強について

幹事  
高森 勉君

本日、担当委員長が欠席の為、代理で発表させていただきます。阿左美会長のクラブ活動方針にもあります『会員増強・退会防止』については、クラブとして大変重く受け止めているところです。

昨年度は、会員組織委員長であった正田会員の強いリーダーシップにより、純増7名という実績を残しました。

今年度も同様若しくは類似したプロジェクトを実施しようということになっております。会員増強月間は既に終了してしまいましたが、週明け早々、会員組織委員会を開催し、今年度の会員増強に向けての具体的な方向性を決める予定です。8名の新会員を迎えたことは、その分だけネットワークも広がったという事ですので、新旧会員織り交ぜながら、昨年度の良いところは継承し、改善すべきところは改善して、プロジェクトを進めて行くつもりであります。

そういった意味で、会員皆様のご協力をお願いすることになりますので、宜しくお願い致します。



新世代部門について

ローターアクト担当

正田 恵一 君

今年度の桐生西RACの顔ぶれを見ますと、外国からの留学生や職業研修生が多くいらっしゃいます。そんな中で、何が出来るとか或いは何をすべきかと考えますと、次代を担う若い世代を育て、留学生等を支援し、国家間の架け橋となるような道筋を付けることが、ロータリーの役目かと思えます。

その様な意味合いからも、RAの活動を通じてアクターに対し、ローターアクトがどうして出来たのか、そして米山梅吉氏に由来する米山奨学制度の本来の目的について等を掘り下げて、より理解を深めて頂けるように、努めて参りたいと思えます。そうすることで、真の日本人の姿をお伝えできると考えます。

桐生西ローターアクトにつきましては、ご存知のように矢野先生の希望の家の組織的な応援が、何度となく危機を救って参りました。会員増強と共に必要なのは退会防止です。今年度は退会防止に留意して、担当して参りたいと思えます。

### 大間々高校模擬面接に協力

今年度で11年目になる大間々高校就職志望3年生の生徒さん対象の模擬面接が、9月3～5日(火～木)の3日間、午後4時から1時間に亘って行われました。昨年まで個人指導で行って参りましたが、今回は30数名の生徒さんを3～5名のグループに分けて、集団面接で行いました。当日は阿左美会長、高森幹事も立ち会い、面接官になった会員は、服装や態度、受け答えの仕方など、経営者の立場から適切なアドバイスを行いました。この事は、4日の桐生タイムス紙に大きく掲載されました。



3日 花房孝道君、



家住慧路君、



近藤幸利君



4日 向田靖君、



横塚直人君、



東郷学君



5日 野田真一郎君、



新井淳一君、



栗原秀一君

### 《次例会予告》

9月20日(金) 本田博己ガバナー公式訪問

### 『昭和一桁の世代』

桐生西RC会員の平均年齢は本年7月現在で61.6歳です。61.6歳という年齢は昭和27年生まれということになります。当クラブでは昭和二桁・中堅の世代と言えます。

確かに会員53名中46名が昭和二桁生まれであります。因みに大正生まれ3名、昭和一桁生まれ4名、昭和二桁生まれ46名です。

昭和一桁生まれのかけがえのない会員は、たったの4名になってしまいました。誠に残念なことであります。

ここで何故昭和一桁という世代を持ち出したかと言いますと、この時代は『薄命の世代』と言われ、大変問題になった特徴のある世代だったからです。

この世代が短命であるということは、以前から注目されていたことで、当時厚生省がまとめた年齢別死亡率を見ても、他の世代より高く、死亡に繋がった病気は、肝硬変、くも膜下出血、糖尿病、脳出血、胃潰瘍などです。これらの病気は出血死することで共通しております。

この事は、この世代が終戦の時15歳を中心にした發育盛りであったにもかかわらず、食糧難のため、血管の發育が十分でなかったためではないかと推論されておりました。

また、この時代は自殺者が多いので注目されておりました。それは、心の成長期である10代に、それまでの価値観が全面的に否定されて目標を失ってしまい、その傷跡が原因であるとされました。加えてこの世代は真面目で遊び方が下手であり、その結果、心身ともに孤独になり、死に至ると言われておりました。

戦後10年位は、青年期の自殺者が多くありました。老人の自殺者が多い「ハンガリー型」に対し「日本型」として発表されました。戦争が若者の心の傷に残ることは、ベトナム戦争後、アメリカで若者の自殺が増えたことから伺えます。

以上の2つの事実が示しているように、昭和一桁の世代は薄命であるということは、宿命のようでありました。しかし不思議なことにこの薄命の世代は男性に限られているようです。女性は環境に左右されない強い本能を持っているのか、または隠れて食べていたのかもしれませんが。

何はともあれ、私達昭和一桁の世代は運が悪かったのだと諦めるしかなかったのです。小学校に入り、国民学校を卒業、旧制中学に入り、新制高校を卒業。始まったばかりの新制大学に入ったら、旧制大学のままの形であり、卒業の頃になって新制大学風に変わってきました。激しい大学紛争もあり、次第に近代化されてきました。

この様に、私達の世代(特に昭和5・6年生)は、過渡期そのものであり、一貫した教育は受けられませんでした。しかし、考えようによっては、旧新両方の教育を受けることが出来た訳です。この様な世代は今迄も無かったし、これからも無いでしょう。求めてもない珍しくもあり貴重な世代でもあったのです。私達は大変な財産を身に付けていた訳です。

一貫した教育を受けられず、食うのも食えず、戦争中ではもっぱら軍事教練に明け暮れて、戦後は新聞紙の様な教科書で、がらりと変わった教育を受けてきたのが、私達の学校時代でありました。

そして時代はどんどん変わり世代の交替が始まりました。両者がお互いに理解しあうということは、恐らく無理だったのでしょう。戦前戦後と環境・教育・主義・理想も全く違う社会で成長した人達なのです。私達は各々両方を経験し教育されてきました。国歌を国技館の歌とし、軍艦マーチをパチンコ屋の歌と思っていた世代があった事実。これも考えようによっては幸せな世の中だったのかもしれませんが。私達一桁の世代は、私達より前の世代(明治大正)と後の世代(昭和二桁)という、大きく変わった両世代を良く理解する事ができました。両者を理解しなければならぬし、それが私達の世代に課せられた宿命的義務でもあったのです。

この様な世代交替の波は、当然ロータリークラブにも起きてくることは予想されておりました。平均年齢的にも中堅であった私達宿命の世代は、当然次世代への橋渡しを引き受けなければならぬし、それが義務であったのかも知れません。期待通り責任を果たすこと事ができたかどうかは、会員皆様のご判断にお任せ致します。橋渡しという仕事を課せられた世代、それは薄命と言われても仕方がなかったのです。佳人薄命とも言いますから。親愛なる一桁生まれの皆さん、これからも健康に気をつけて、まだまだ長生きをしましょう。実はこれが本音であります。 パスト会長Y. H.